

i P a d活用票

キーワード	国語、読み聞かせ、集団活動が苦手、学習機会の保障、f a c e t i m e、遠隔授業		
中学部 2 年		領 域 教 科	国語
題 材 名	外部ボランティアの方からの読み聞かせ		
使用したアプリ	・ f a c e t i m e		
どのように活用したか			
<ul style="list-style-type: none">・ 場面緘黙で、かつ、集団での活動を苦手としている生徒が対象である。・ 本や読書に親しむため、外部ボランティアを招き、中学部全員に読み聞かせを行った。・ 対象生徒も、外部ボランティアの読み聞かせを見たり聞いたりできるように、その様子を別室にいる対象生徒に f a c e t i m e で中継し、視聴できるようにする。			
児童生徒の様子はどのようだったか。			
<ul style="list-style-type: none">・ i P a d を注視して、ボランティアの方の読み聞かせの様子や生徒たちの反応を見ていた。・ 終了後、「面白かったですか」と感想を聞いたところ、手を挙げ「面白かった」ことを教師に伝えることができた。・ f a c e t i m e の利用により、他の生徒と同等の学習の機会を保障でき、読書の楽しさを感じることができた。			

i P a d 活用票

高等部

i P a d活用票

キーワード	国語、家庭での外出、s a f a r i (i P a d標準搭載)、言語化、文章化 インターネット、視覚情報、想起		
高等部1年	領域 教科	国語	
単元名	書いてみよう 話してみよう		
使用したアプリ	・ s a f a r i (i P a d標準搭載) 解説		
どのように活用したか	・簡単な会話はできるが、過去の出来事を視角情報がないと話すことが困難な生徒が対象である。 ・冬休みの一行日記に、「牛井チェーン店に行きました。」と記述があった。 ・インターネットで牛井チェーン店のメニュー表を提示し、何を食べたか確認し、話したり、書いたりできるようにする。		
児童生徒の様子はどのようなだったか。	・牛井チェーン店のHPを提示し、「ここに行きましたか?」と尋ねると、「行きました。」		

と答え、会話が成立した。

- HP内のメニュー表を提示し、「何を食べましたか？」と尋ねると、「牛丼」を指さし「ぎょうどん」と答え、会話が成立した。
- 「次に行った時は、何を食べたいですか？」と聞くと、食べたいメニューを指さし、答えた。
- 以上のことを、教師が文章にして提示することにより、冬休みに牛丼チェーン店に行った際の一連の出来事を話したり、文章にしたりすることができた。

i P a d 活用票

キーワード	国語、インタビュー、カメラ（動画／i P a d 標準搭載）、自己評価 相互評価		
	高等部 3 年	領 域 教 科	国語
単 元 名	インタビューをして報告書を作ろう		
使用したアプリ ・カメラ（動画／i P a d 標準搭載） 解説			
どのように活用したか ※学校祭作業製品販売の際に、お客様に各作業学習班のおすすめ製品を紹介できるように、「おすすめ製品一覧表」を作成することにした。 ・「おすすめ製品一覧表」の作成にあたり、各作業学習班にインタビューを行った様子を動画撮影して生徒に提示し、インタビューの様子を確認しながら、作成できるようにする。			
児童生徒の様子はどのようなだったか。 ・後日、動画を見ることにより、「おすすめ製品一覧表」作成に対する意欲が高まった。 ・動画を視聴することにより、インタビューの際に聞き取れなかったことや聞き間違ったことを自ら確認することができ、正確な報告書を作ることができた。 ・動画を見ることにより、話すスピード、声量、言葉遣い、表情や態度を自己評価したり、			

相互評価することができ、学校祭の作業販売に向けて、改善できた。

i P a d 活用票

キーワード

国語、詩の音読、カメラ（動画／i P a d 標準搭載）、自己評価、相互評価

<p>高等部 3 年</p>	<p>領 域 教 科</p>	<p>国語</p>
<p>単 元 名</p>	<p>詩文に親しもう</p>	
<p>使用したアプリ ・カメラ（動画／i P a d 標準搭載） 解説</p>		
<p>どのように活用したか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩の音読の学習の際に、音読の様子を 2 m 程度離れた所から動画撮影して生徒に提示することにより、音読のスピード、音量、声のトーンなどは適切か、自己評価したり、相互評価できるようにする。 <p>児童生徒の様子はどのようだったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読の様子を動画で見ることにより、「もっと、大きな声でゆっくり音読した方がよい」「顔を上げた方が声が大きく聞こえる」などの発言があり、自ら音読の様子を自己評価していた。 ・生徒間の相互評価もあり、他生徒からの評価の内容も同じだったので、自己評価に対する自信を深める生徒が多かった。 ・以上のような自己評価と相互評価の後、再度、音読を行ったところ、以下のような改善が見られ聞きとりやすくなった。 <ul style="list-style-type: none"> 音量が大きくなった。 音読のスピードがゆっくりになった。 語尾が聞き取りやすくなった 		
<p>キーワード</p>	<p>特別活動、放送委員会、車椅子、狭い通路、カメラ（動画／i P a d 標準搭載）</p>	

	代替表現手段、学習意欲の向上	
高等部 2 年	領域 教科	特別活動（委員会活動）
所属委員会	放送委員会	
使用したアプリ	・カメラ（動画／i P a d 標準搭載） 解説	
<p>どのように活用したか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象生徒は車椅子を使用する生徒である。 ・職員室内の放送室までの通路が狭く車椅子で放送室に入れない。 ・生徒会の中での自らの役割を果たすため、放送で話す内容を事前に動画機能を使って録音し、教師が全校放送をする。 		
<p>児童生徒の様子はどのようなだったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記のことを教師が提案したところ、喜んで受け入れた。 ・ボイスメモへの録音は前日に行うことにしているが、前日は自分から録音したいと教師に伝えるようになり、自分の役割を果たした。 		

i P a d 活用票

キーワード	職業、会えない卒業生へのインタビュー、カメラ（動画／i P a d 標準搭載） 臨場感、思考の深まり
-------	---

高等部3年	領域 教科	職業
単元名	私の支援計画を作ろう	
使用したアプリ	・カメラ（動画／iPad標準搭載） 解説	
	<p>どのように活用したか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私の支援計画」に記載する目標を考えるため、社会人に必要な力を卒業生に質問をした。 ・その際に、卒業生への質問事項を、動画で撮影し、教師が卒業生に提示した。 ・卒業生からの回答も教師が動画撮影し、後日、授業で提示し、社会人に必要な力を考えることができるようにした。 	
	<p>児童生徒の様子はどのようなだったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生に質問をするために、手紙を書いたり、校外学習を実施したりする必要がなく、質問を考えることに集中できた。 ・卒業生からの回答の視聴した際は、自分の予想とは違う回答に驚いたり、卒業生の考え方に感心したりする様子が見られた。 ・いずれも、卒業生の背後の映像が就職先であると言う臨場感があり、納得する生徒が多かった。 ・卒業生の回答及び回答をもとにした生徒間の話し合いを経て、「私の支援計画」に記載する目標を、自ら考えて記述する様子が見られた。 	
キーワード	職業、面接練習、カメラ（動画／iPad標準搭載）、自己評価	

高等部 3 年	領 域 教 科	職業
単 元 名	会社のことについて知ろう～面接の準備をしよう～	
使用したアプリ ・カメラ（動画／i P a d 標準搭載） 解説		
どのように活用したか ・入社面接の練習において、その様子を動画撮影して振り返り、自ら気づいて改善をする。		
児童生徒の様子はどのようなだったか。 ・歩く姿勢や椅子へ座り方、表情、話し方等のポイントに沿って、練習の動画を視聴することにより、以下の点を自己評価し、自ら改善することができた。 歩くとき、座るときは、背筋を伸ばす。 目線は相手の顔を見て、表情は硬くないようにする。 話す時は語尾までゆっくりと話す。		

平成29年2月 作成

秋田県立横手支援学校

校長 佐々木 明美